

嘉建第1415号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

嘉島町長 荒 木 泰



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別添のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県嘉島町

市町村道においても広域的機能を有する道路がありますが、そのような道路を整備する場合において、隣接市町村や国・県などと協議し、より一体的、広域的な道路整備を行う場合には、現在の補助制度より柔軟に対応（補助率のアップ）できるようにしてもらいたい。他市町村と一体的に整備することにより道路ネットワークの構築が出来るのではないかと考える。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

熊本県嘉島町

○現状

これまでの道路政策は、高度経済成長に伴う車社会中心の道路整備であったと考えられるため、市町村道においても歩道・自転車道の整備が充分であるとはいえず、歩行者など交通弱者が危険な状態で通行している状況がある。また、通学路においても同様であり、早期の整備を必要としているが財政的に非常に厳しく、歩道・自転車道の整備が進まないのが現状である。

○課題

今後、少子高齢化社会が進むにつれ、特に高齢者に、より身近な道路である市町村道の利用が見込まれ、今後益々、市町村道での歩道・自転車道の重要性が増すものと思われる。そのため、いままです以上に歩行者等の安全が確保できる道路の整備を最重要課題と考えるが、財政的に厳しく、財源の確保も課題と考える。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２地域の目指すべき将来像

熊本県嘉島町

道路は社会資本として重要なものと考えているが、目的地への通行としての役割だけでなく、集落の町並みや歴史、田園風景や山並みの景色を楽しむために、歩行・自転車を使った健康づくりを行う場、人と人との交流の場などとして、より色々な活用ができることを期待したい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

熊本県嘉島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
地域の自立と活力の強化		生活幹線道路ネットワークの形成において、地域高規格道路の整備などを行うことにより、地域が活性化し、うるおいとやすらぎのある生活を営むことができると期待する。	
安全・安心の確保		今後益々、歩道・自転車道の重要性が増すものと思われ、歩道・自転車道の整備を行うことにより、安全・安心が確保できるとを期待する。	
		道路の中期計画において取り組む政策はどれも欠かすことのできない政策であると考えられるが、地域ごとにその課題は異なるなど、政策の実施においては国による強いリーダーシップを期待する。	